ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

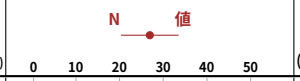
ボーリング名	No.B-2(D-NO.15,R2.25)	調査位置						北　緯	36 ° 19 ' 00.0000 "
発 注 機 関	栃木県佐野土木事務所			調査期間	2008-10-10 ～ 2008-10-11			東　経	139 ° 37 ' 11.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	30.24 m	角度	上 180° 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 30.00 °	使用機種	
総 掘 進 長	9.45 m								

試 錐 機		ハンマー落下用具	
エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	29.54	0.70	0.70		盛土	暗褐			0.50mまでは粘土混り砂礫主体 礫はφ2～50mmの角礫で粘土、砂を多く混る 0.50m～はやや固結度の高い礫混り粘土		
1					礫混り凝灰質粘土 (CH-G)	茶褐～暗褐～暗灰		硬い	含水少なく粘性弱い 全体に固結状の凝灰質粘土 全体にスコリアを混入する φ2～15mmの風化角礫を点在する		10/11 2.26
2											
3											
4	26.24	3.30	4.00								
5					礫混りシルト (M-G)	暗青灰		硬い	含水少なく粘性弱い 全体に固結したシルト主体の粘性土 4.90mまではφ2～15mmの風化角礫をやや多く混入する 4.90m以深は礫少なく細砂を多く混入する 5.10～5.40m間に腐蝕木片や有機物を多く混入する 5.40m～は極微量の有機物を点在する		
6											
7	22.54	3.70	7.70								
8	21.74	0.80	8.50		粘土質砂礫 (GSC)	暗青灰	中ぐらい		含水中位 φ2～80mmの亜円～亜角礫を主体とする 礫間は砂混り粘土で充填される 最大径100mm程度点在する		
9	20.79	0.95	9.45		礫混りシルト (M-G)	暗青灰		硬い	含水少なく粘性弱い やや固結したシルト主体 微量の有機物点在する φ2～15mmの亜円礫、風化角礫を少量混入する		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	4	4	11／30	11
1.45					
2.15	5	5	6	16／30	16
2.45					
3.15	5	5	7	17／30	17
3.45					
4.15	8	8	9	25／30	25
4.45					
5.15	2	2	5	9／30	9
5.45					
6.15	4	4	5	13／30	13
6.45					
7.15	6	6	6	18／30	18
7.45					
8.15	8	9	9	26／30	26
8.45					
9.15	4	5	6	15／30	15
9.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		1.20	T2-1	D	物理・圧密・三軸	10/10
		2.20				10/11